

まちづくり地区懇談会（大出区）会議録

地区名：大出区

日時：平成28年11月15日（火）18：00～19：30

会場：大出コミュニティセンター

町参加者：副町長・戸田総務課長・中村企画振興課長・鈴木企画振興課まちづくり政策係長・清水室員・唐澤剛地域支援スタッフ

参加人数：25人（男性24人：女性1人）※町・主催者、報道機関を除く

報道機関：－

1 開会（司会：中村課長）

2 区長あいさつ

第5次振興計画を作成するにあたり区の将来像を作成した。実現するために区割りや受益負担について、提言をいただいている。実現できるよう取組む。

町との関係をより近くになるようご意見を。

3 副町長あいさつ

町長は公務のため本日は参加できないが、町長に伝え施策に生かしていく。

昨年、第5次振興計画を策定し区の将来像も話し合い決定した。町も人口減少幅を最小限に食い止めていく。

町道52号線新設では、区民のみなさまに協力をいただいている。早期完成を目指し行っている。また、沢保育園の建設業者が決定した。来年11月中旬に園舎完成、旧園舎の解体、園庭や道路の整備など長期の工事となる。

国勢調査では人口が977人減少した。他の区に比べると比較的減少は少ないが、今後注視していかなければならない。地方創生により自治体間競争の時代。地に足のついた先見性のある事業を進めたい。

本日は、意見要望をお聞きしお答えするが、後日区長を通して回答するものもあるのでご了承願いたい。

4 町出席者の紹介

5 区・町の話（鈴木係長）

6 質疑・懇談

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

参加者) 大出区におけるグリーンベルトの状況、今後の予定は。

総務課長) 学校の近くから始めており、北小学区は沢区から。グリーンベルトの必要性は認識している。

町民) 通学路の交通量多く、道が狭い。改善を。

総務課長) 沢区からも要望が出ている。

参加者) 町の平成 27 年度決算をみると無難な結果。法人税収下がっている。企業誘致が進んでいるか。償却資産の固定資産税が低いのでは。人口減少も個人住民税が減となる。税は貴重な自主財源。長期借入も結構な額となっている。

人口対策、企業誘致は具体的に何を行うのか。地方交付税に頼らず自主財源の対策を。町ではどんな構想をもっているか。

副町長) 町長が代わって 1 年目のため、ハード事業が少なかった。結果的に健全な数値となった。10 年後、2 倍くらい税収減の見通し。町民税は横ばい。法人税は、大きな企業の影響が露骨に出てしまう。

企業誘致は、なかなかない。空き工場は引き合いがあり交渉を進めている。

参加者) 確実に固めていかないと。

副町長) 上伊那でも情報交換しながら企業に残ってもらえるようにしたい。

参加者) 減価償却され固定資産税が下がっていかないか。

副町長) バイパス沿いに新たな企業の進出はあるが、法人税の増にまではなっていない。

参加者) 町道 51 号、52 号線完成目途は。

副町長) 今年は用地買収と側溝設置まで。再来年までにはと思っている。

参加者) 道の駅については。

副町長) にこりこ周辺を拠点に考えている。職員によるプロジェクトチームを結成、11 月から専属の職員を配置した。課長級による道の駅推進委員会も設置している。

南箕輪村が来年 3 月登録を目指しているが、箕輪町も同じ。

参加者) 大出区の計画でも道の駅は重要課題。

町民) 道の駅同士、近くにあってもよいのか。

副町長) 事前の話合いで、南箕輪の道の駅との距離は大丈夫だと思う。

参加者) ①中学生が西天の際を通学しているが、暗くて危険。大出は全域徒歩通学なので見直しを。

②東京ビックサイト等へ企業が出展する資金を町が補助したらどうか。

副町長) ②諏訪のメッセでは町がブースを開き、町内企業がいくつか出展した。若い企業家も多くなっているので町も一緒に支援している。モノづくり支援員が全企業

を周り、マッチングを行っている。

参加者) 出展は工場が来るきっかけになるのでは。

総務課長) ①200人弱が自転車通学で大出山口は自転車通学の対象。街灯は沢からLED化している。春日街道に歩道が全線付けるなど安全対策は行っている。親御さんが車で送り迎えをするので徒歩の生徒は少ない。また、みのちゃんバスのダイヤも通学に合わせてある。自転車保険に加入するよう学校を通じて呼びかけている。それぞれの中で安全確保をお願いしたい。

参加者) 通学方法についてフレキシブルに対応を。

総務課長) PTAと学校で決めるのが基本。4kmが徒歩圏内。

参加者) 企業が少ない。団地もつくってある。企業誘致の担当は。

副町長) 産業振興課。

参加者) 水路橋は昔からある。耐震調査をして補強していただきたい。

副町長) 中央道に架かる橋など耐震調査・工事を行っている。水路橋はいつか確認する。

参加者) 水路橋はどこのものか。西天土地改良区か。

区長) 町の有形文化財となっているので町では。

参加者) 耐震診断は町が行うのか。

区長) 道路として使用しているがよいか。

参加者) 町道認定はされているか。

総務課長) 町道認定はしていると思う。

参加者) 何かあってからでは遅いので、どこの管理か明確にしておいた方がよい。

副町長) 調べて対応をする。

参加者) 地域の絆づくりが重要。親戚づきあいも冠婚葬祭くらいとなっている。新盆見舞いは簡素になり楽でよいが、絆が薄くなってしまいうのでは。

新盆見舞いを義理事に関して近隣の交流を深める良い機会としたらどうか。華美になってはいけませんが。

副町長) 新盆見舞いは一番簡素化が進んだと新生活改善委員会から聞いている。ひとつの意見としてお伝えする。

区長) 除雪できる人がいない。中学校の通学路が困る。他の区ではどうか。

副町長) 除雪機の補助はあるが、南箕輪村のように除雪ボランティアを募るなど仕組みがない。

参加者) 南箕輪を真似てみたらどうか。

副町長) 他の区で除雪をする人がいないという問題は聞いていないが、ひとり暮らしや

高齢世帯の除雪に関しては全区同じ悩みはあると思うので、区長会で提案し検討をしたい。

参加者) 区未加入者は町全体でどのくらいか。

総務課長) 区長会で聞いた中では一桁。アパートなどは入っていないが。

区長) 大出区は数件。

参加者) 役員が受けられない事を理由に区から出ていく場合もある。町からも転入者に区に入るよう勧めてほしい。

参加者) 住民自治基本条例にも書いてあるので、町でも説明して入ってもらうよう指導してもらいたい。

副町長) 条例の趣旨にあうよう区や常会に入りやすくなるよう検討していく。

参加者) 区と行政で、区の問題が共有できていない。暮らしやすい地域をつくるには、役場に担当者をおきリアルに情報共有できるようにしたらどうか。年1回の懇談では進んでいかない。

区民が暮らしやすいと実感すると周りの人に言う。町民全員がセールスマンとなる。暮らしやすい地域には人が集まるので、行政と区と一緒に問題を解決するスタンスとしてほしい。

副町長) 町の政策研究は町民とのふれあいの中から答えを見出していくよう進めている。地域支援スタッフがいるが、しっかり機能していない。町からの情報をどのような方法で出すのがよいか検討していきたい。広報誌も読んでもらえる努力をする。

7 まとめ

8 閉会 (19:30)